

日本ウマ科学会 2017年度 第1回常任理事会議事録

日 時：2016年11月11日（金）10：30～12：00

場 所：JRA 競走馬総合研究所 小会議室

出席者： 青木 会長・臨床担当常任理事

田谷 副会長・編集担当常任理事

田嶋 副会長

蘆原 庶務担当常任理事

石田 学術担当常任理事

桑原 国際担当常任理事

鎌田 広報担当常任理事

太田 事務局長

議題：

1. 監事監査報告
2. 2017年度 理事会・評議員会・定時総会について
 - ① 2016年度事業報告（案）ならびに収支決算（案）
 - ② 2017年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）
3. JESのIF（インパクトファクター）獲得のための第2ステップについて

議事概要：

議題1.

- 11月9日（水）にJRA 競走馬総合研究所にて三浦・武田両監事による監事監査が行われた。特別な指摘事項はなく、書類は正確に処理され、事業は適切に運営されていると報告された。（本年は監事監査と常任理事会とが別日に行われたため、蘆原常任理事が代理で報告）

議題2. ①

- 2016年度の事業報告&収支決算について、「2017年度 理事会・評議員会・定時総会 資料」（案）に基づき、事務局より説明がなされ、概ね原案通りに承認された。主な説明点は以下の通り。
 - 正会員数および賛助会員数はほぼ横ばいで、収入もほぼ予算どおりであった。
 - JESの論文数の増加に伴い、印刷製本費が前年度支出を大幅に上回った（JES：+694,014円、Hippophile：△281,016円）。
 - 学術集会で海外（韓国）から講師を招聘したため、学術集会事業費も前年度支出を上回った。

- 一般会計が赤字決算（△614,566 円）のため、特別会計への繰入は見送った。
- 臨床特別会計は、企業展示収入が微減したものの、海外からの講師招聘を 2015 年度に前倒しで行ったため、今年度は大幅な黒字決算となった。

議題 2. ②

- 2017 年度の事業計画&収支予算について、「2017 年度 理事会・評議員会・定時総会 資料」(案)に基づき、事務局より説明がなされ、概ね原案通りに承認された。主な説明点は以下の通り。
 - 2018 年度より学術集会の会場が変更となる（両国：KFC Hall & Rooms）が、会場費（約 80 万円）が前払いのため、この分を 2017 年度予算に計上する。
※会場費の増額分については、学術集会参加費の値上げで対応する。
 - 上記の会場費支出分を確保するため、国際特別会計から 50 万円、臨床特別会計から 50 万円、それぞれ一般会計に繰戻する。

議題 3.

- 田谷副会長より JES の IF 獲得のための第 2 ステップについて説明があった。
 - IF の申請方法が変更となったことに伴い、編集委員会の規程改正を進めることとなった。
 - IF 獲得の最低条件として、総説と Full Paper で年間 20 編が必要なことから、引き続き会員に論文投稿を働きかけることとする。